



自衛隊栃木地方協力本部

募集相談員連絡会の協力で陸・海・空装備品パネル掲示



セブンイレブンさくら氏家店に掲示されたポスター

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一陸尉）は、11月7日（火）から、栃木県さくら市に所在する鮮魚店「魚一（うおいち）」の駐車場に常設型の陸・海・空装備品パネル展示及びセブンイレブンさくら氏家店に自衛隊募集ポスターを掲示した。このパネル展示及びポスター掲示は、栃木県募集相談員連絡会大田原支部長（新井氏）の全面協力を得て実施され、新井氏は「募集相談員として、もっと何か協力できることはないか。募集が大変な時期だから、自衛隊をもっと知ってもらいたい」と熱く語ってくれた。

大田原地域事務所は、「今後も、募集相談員や地域と連携し、「地域密着型」の広報で募集広報の強化を図っていく」としている。



駐車場に常設されたパネル展



安全教育を受ける参加者

CH-47宇都宮駐屯地体験搭乘！ ～地元上空の散策を楽しむ～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は11月25日（土）、宇都宮駐屯地でCH-47体験搭乘を実施し、募集対象者等50名が参加した。当日は青空の広がる絶好の体験搭乘日和となり、受付を済ませた搭乗者は、搭乗前安全教育を受け、ヘリ発着場地区へ移動した。搭乗が始まるとCH-47の機体の大きさやプロペラの風圧や音に歓声を上げながら乗り込んでいった。搭乗者は、地元宇都宮市を上空から眺め、見知った風景を見つけては指をさして同乗した友人らと楽しんでいった。体験搭乗後、参加した高校生は「上空から自宅や学校が見えました！空から地元が見れるなんて、とても貴重な体験でした」と笑顔で話していた。

栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に積極的に働きかけ、自衛隊への理解の推進及び募集活動に邁進していく」としている。



CH-47体験搭乘の様子



大空へ飛び立つCH-47



フライトを終え、駐屯地へ戻ってきたCH-47。大量の木の葉が舞う



展示してある装備品の前で記念撮影をする参加者